

いけだこう

池田港（県管理地方港湾）

池田港は、風光明媚な瀬戸内海、小豆島の中央部に位置する池田湾内にあり、高級手延そうめんの生産、電照菊の栽培等で知られる池田町を背後に控え、小豆島の南玄関として発展を遂げてきました。

本港の背後は四季おりおりに、その美しい姿を見せる良好な自然に恵まれ、また、港背後の亀山八幡宮の秋祭りは小豆島最大の秋祭りとして有名で、太鼓台が20数台も陸路、あるいは海路より船に乗ってここに集まる一大イベントの開催地ともなっています。

本港の整備は昭和23年頃から始まり、昭和44年にはフェリー岸壁が完成、高松～池田間のフェリーが就航し、地域の物流、人流の拠点として重要な役割を果たしています。また、本港地区において平成8年から着手した港湾整備が完了したことにより、池田港は観光小豆島の交流拠点として今後、ますますの発展が期待されています。

